



富山のすごい文化 *Meets* 東京キャラバン!!

東京キャラバン in 富山

パフォーマンス [富岩運河環水公園・野外劇場] 富山県富山市

2019年11月3日(日・祝) 15:00 ~

展示・実演 [富山県美術館] 富山県富山市

2019年11月4日(月・休) 14:00 ~

<http://tokyocaravan.jp>

リーディングアーティスト:

木ノ下裕一

(ドラマトゥルク・「木ノ下歌舞伎」主宰)

観覧無料

あの「東京キャラバン」が富山にやってくる! 野田秀樹が提唱する「多種多様なアーティストたちの“文化混流”から生まれる新たな表現」をコンセプトに創作するワークショップとパフォーマンス、それが「東京キャラバン」です。東京、リオデジャネイロ、東北、京都、熊本、豊田、高知、秋田、いわき、埼玉を旅して、数々の“わくわく”と“どきどき”を生み出してきた“旅する文化ムーブメント”は、ここ富山でさらに進化します。東京2020オリンピック・パラリンピック開催と、その先の未来へ続く“始まりの物語”を、“あなた”と紡ぐ一日です。



Come on!
来て! 観て!
「東京キャラバン」

「これまで出会うことのなかった表現者たちが言語や国境、表現ジャンルを飛び越えて、混じり合うところに、文化が生まれる」この野田秀樹(劇作家・演出家・役者)の提唱に賛同する様々な表現者同士の“文化混流”から生まれる、唯一無二の“旅する文化サーカス”。それが「東京キャラバン」です。
2015年から東京、ブラジル、東北、京都、熊本、豊田、高知、秋田、いわき、埼玉など国内外を訪れ、その土地の文化や伝統芸能の担い手、表現者、新たな可能性を持った若者らと出会い、今までにないパフォーマンスを創作・発表してきました。
目撃し体感する観客のみなさんが、それぞれの心に蒔かれた“文化の種”を育て、未来へと続いていく文化活動のプラットフォームになってくれることを願って、今年も東京キャラバンは日本中を駆け巡っていきます。



1 駒沢 10/8(木)-10/10(土)
2 リオデジャネイロ 8/18(木)-8/21(日)
3 東北・仙台 9/3(土)-9/4(日)
4 東北・相馬 9/17(土)-9/18(日)
5 六本木 10/21(金)-10/22(土)
6 京都・亀岡 8/19(土)-8/20(日)
7 京都・二条城 9/2(土)-9/3(日)
8 八王子 9/9(土)-9/10(日)
9 熊本 10/9(月・祝)-10/13(金)
10 豊田 7/22(日)
11 高知 9/16(日)
12 秋田 12/8(土)-12/9(日)
13 いわき 5/19(日)
14 富山 11/3(日・祝)-11/4(月・休)
15 岡山 12/8(日)
16 北海道
17 東京都内

2015 プロローグ “旅立つ前夜”
2016 地球の反対側から日本へ
2017 日本全国へ
2018 さらに日本全国へ
2019 全国を巡り2020へ
2020



東京キャラバンが
紡ぐ物語

“Walk on ザ・トヤ曼荼羅!”

富山の歴史や文化を体感し、そこから着想を得たリーディングアーティストの木ノ下裕一(ドラマトゥルク・「木ノ下歌舞伎」主宰)と演出を担う北尾亘(振付家・ダンサー・「Baobab」主宰)らが、越中いさみ太鼓や合唱、パベットなど、富山で活躍する文化の担い手や表現者たちと出会い、ジャンルを越えて交わり、ともに新しい表現を創り上げます。果たして、どんなパフォーマンスが花開くのか。ステージは目撃者である“あなた”を通して完成します! 観覧は無料、出入り自由。「東京キャラバン in 富山」でしか観ることのできない貴重なパフォーマンスを、是非とも“生”で体験してください!

観覧無料・事前予約不要・出入り自由

- 参加アーティスト 木ノ下裕一、北尾亘(振付家・ダンサー・俳優・「Baobab」主宰)、下島礼紗(ダンサー)、夏目慎也(俳優)、西田夏奈子(俳優)、山田茉莉(ダンサー)、米田沙織(ダンサー)、越中いさみ太鼓保存会、太田豊(音楽家)、ジャック・リー・ランダル(パベット)、高岡第一高等学校ダンス部CAD、富山スペシャルコーラス トヤマイメン、パフォーマーハルキ ほか
- 参加クリエイター 青木兼治(映像)、清川敦子(衣裳)、ザ・おめてたズ(ラップバンド)、高岡伝統産業青年会、谷中健一(写真) ほか
- スタッフ 山道弥栄(演出助手)、佐藤真喜子(演出部)、熊木進(舞台監督)、本郷麻衣(制作) ほか

パフォーマンス

富山の素晴らしい表現者たちと出会い、新しく創作したこの日限りのパフォーマンスを上演します。

2019年(令和元年)
11月3日(日・祝)
15:00~

富岩運河環水公園・野外劇場
富山県富山市湊入船町

展示・実演

会場では表現者たちの出会いや創作の様子を紹介。前日の熱気を携えた参加アーティストたちがそれぞれのオリジナルパフォーマンスを披露します。

2019年(令和元年)
11月4日(月・休)
14:00~

富山県美術館
富山県富山市木場町3-20

「循環する足音」

富山を歩き、富山を見聞し、富山について考えている時、私の耳に聴こえてきたのは“循環する音”だったような気がします。日本列島をぐるりと囲むように走る北前船、薬を売り歩く商人、立山を彷徨い歩く山伏や巡礼の人々、立山曼荼羅を携えて諸国を絵解きして歩く人、仏像を彫り歩く円空……。富山を起点にしながら、あるいは富山を中継点にしながら、物資や薬品から信仰や知恵までも手一杯に抱え、諸国へ届け、循環運動を続けた人々の足音が聴こえてきました。いくつもの険しい波や峠を越えても、なお届けようとした、それら富山の“循環する足音たち”への敬意を、作品に込めることはできないだろうか。それも、滔々と流れる運河を借景にした野外舞台で。2019年の富山という場所で、過去の富山を絵解きしつつ、未来の富山を、思いっきり祝福するような、そんな舞台を目指します!
木ノ下裕一(ドラマトゥルク・「木ノ下歌舞伎」主宰)

Leading Artist



とにかく生で見て、心で感じること!
それが「東京キャラバン」の醍醐味です!

[アクセス]

富岩運河環水公園・野外劇場

- 徒歩の場合 JR富山駅北口より約9分
- 車の場合 北陸自動車道富山ICより国道41号線経由にて約20分
- バスの場合 富山空港より県道69号線経由にて約25分

富山県美術館

- 徒歩の場合 JR富山駅北口より約15分
- バスの場合 富山駅前よりバス停「富山県美術館」下車すぐ
- 車の場合 北陸自動車道富山ICから国道41号線経由にて約15分
- JR富山駅北口より約3分



※雨天時は会場及びプログラムを変更して実施します。

※出演者やプログラム内容は予告なく変更になる場合があります。

お問い合わせ先: info@tokyocaravan.jp

主催: 東京都・公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、富山県

総監修: 野田秀樹(劇作家・演出家・役者)

メインビジュアル: 石原七生

扉面写真: 井上嘉和、篠山紀信、宮井正樹、三浦知也、石川拓也、コンドウダイスケ

◆「Tokyo Tokyo FESTIVAL」とは

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団は、オリンピック・パラリンピックが開催される2020年の東京を文化の面から盛り上げるため、Tokyo Tokyo FESTIVALとして様々な文化プログラムを展開しています。東京キャラバンはその一環として実施しています。また、東京2020公認文化オリンピックでもあります。 <https://tokyotokyofestival.jp>



「必要なのは、今、2020年にむけての「物語」、そして、その「物語」が2020年を超えても続いていけるような、そんな「物語」を作ることではないのか? 1964年の東京オリンピックには、これで戦後が終わっていくのだ、日本がよいよ世界に向かって復帰できるのだ、といった確固たる物語があったように思う。今回の東京オリンピックには、今、日本人を動かすべき、そうした大義名分のような「物語」を簡単に見つけることは難しいだろう。ただ、ある程度の大きさの「物語」を積み重ねることで、人々の「気運」を作ることはできる。そして、盛り上がった「気運」の中からしか、壮大な物語は生まれにくいと思う。(中略) そして、この東京キャラバンが日本にばらまいた、目の前にある文化=ライブの面白さ。それを経験した小さな子供たちの心の中に種が撒かれる。インターネットの普及で偏りがちになった文化とは、全く違う姿、目の前で息をしている人間が生み出す文化への興味を示してくれるようになり、その中から、新たな形態の文化を生み出すとき、この「東京キャラバン」という物語は、本当に壮大な物語になるだろう。」



総監修 野田秀樹(「東京キャラバン」構想より)

インターネット
でのライブ中継
実施決定!

「東京キャラバン in 富山」をより多くの皆さまにご覧いただくため、11月3日(日・祝)15:00から公式WEBサイトにてインターネットライブ中継いたします。詳しくはWEBサイトをご覧ください。
<http://tokyocaravan.jp>

Future...